



今月新しく入りました。

※2月の新刊は、1日(月)からの貸出となります。

一般の本

- ・たんぼぼ団地 (作=重松 清)
- ・モナドの領域 (作=筒井康隆)
- ・エックハルト・トールの「子育ての魔法」(作=スーザン・スティフェルマン)
- ・かわいく作れるチョコ&お菓子(出版=主婦の友社)



『魔女の封印』 作=大沢在昌

男の人間性を一目で見抜く特殊能力を活かし、裏のコンサルタントとして生きる女性が接触し調べた男性は、人間のエネルギーを摂取し命を奪う新種の頂点捕食者だった。一瞬で人の生命を奪い、日本の安全保障をも脅かす、1億人に1人の存在とは？

子どもの本

- ・おとうさん ほくね… (作=長谷川義史)
- ・世界のどうぶつ絵本 (作=前田まゆみ)
- ・たんけん絵本東京駅 (作=濱 美由紀)
- ・10分で読めるノーベル賞をとったえらい人 (作=ノーベル賞受賞者研究会)

『赤い糸』 作=うさ

ある日見つけた赤い糸。それを巻いていくと聴こえてくる世界の悲しみや苦しみの声。さらに糸を巻いていくとそれぞれの幸せの姿が見えます。悲しみや苦しみを巻いた赤い糸は大きな玉になります。世界は幸せになれるのでしょうか？



『ミルクこぼしちゃだめよ!』

作=スティヴン・ディヴィーズ
絵=クリストファー・コー

西 アフリカのニジェールに住んでいる小さな女の子の冒険。原色の絵が異国情緒たっぷりです。お父さんが仕事をしている山の上まで、ミルクをなみなみいれたおわんを頭の上のせて運びます。ラクダのいる砂丘を通り、川を船で渡り、お

面をつけた人たちの踊り、白いキリンの群れ、山を登り。よそみをしていないでしっかり堂々と歩くのよ。自分に言い聞かせながら困難にたえ、ついに着いたのに。お父さんの目の前でミルクが！お父さんの、女の子を思うすてきな言葉が心に残ります。



『ありがとう、フォルカーせんせい』

作・絵=パトリシア・ポラッコ

ト リシャにとつて字も数字もくねくねしたかたちには見えませんでした。絵はすばらしく上手なのに本が読めないのです。すっかり劣等感をもったトリシャはいじめられ辛い学校生活を送ります。理解し愛してくれていた祖母はこの世からいなくなってしまう。転校して5年生の時に担任になったフォルカー先生が気づき、字の読めないトリシャにあつた特別のやり方で教えてくれます。先生がさした本が読めた時の感動にトリシャは自信を取り戻します。感謝の気持ちがそのまま題名に。LD(学習障害)を理解するのに役立つ。作者の心の叫びを読んでもください。

広がる本だな

本は知識を深めるだけでなく、人と人とのつながりを広げてくれます。新たな本との出会いは新たな人との出会いの始まり。広がる本だناでは、新たな本との出会いの場として、毎月おすすめの本を2冊紹介いたします。今月の紹介者は金子美代子さん(文庫連絡会)です。



Health

ADVICE

在宅支援室看護師の

くらで病院スタッフ
からの健康
アドバイスです

調子はいかが？

くらで病院 ☎42局1231番



最近、「訪問看護」という言葉をよく耳にしますが、どのようなことをしてもらえるのでしょうか？（61歳・女性）

訪問看護とは

看護師などが直接患者宅を

訪問して、かかりつけ医の指示のもと、必要な医療や看護を行うサービスを訪問看護といいます。医師により、訪問看護が必要と認められたすべての人が対象となるため、赤ちゃんから高齢者まで、疾病や障害を持ち、療養しながら自宅で生活している人に適切なケアを提供することができ、訪問看護を提供する機関には、訪問看護ステーションや医療機関（病院・診療所）が挙げられます。

健康状態チェックや相談そのほか様々なケアが受けられます

訪問看護では、かかりつけ医

と連絡をとり、心身の状態に応じて次のようなケアを行います。

- ▼健康状態の観察と助言（健康のチェックや病状の観察と助言）
- ▼検査・治療促進のための看護（床ずれ・その他キズの処置、服薬指導・管理）
- ▼日常生活の看護（清潔・食生活・排泄のケア、寝たきり予防のためのケア）
- ▼療養環境改善のアドバイス（住宅改修の相談、療養環境の整備、福祉用具導入）
- ▼在宅リハビリテーション看護（体位変換、関節などの動かし方の指導）
- ▼介護者の相談（介護者の健康管理、日常生活に関する相談）
- ▼精神・心理的な看護（不安定な精神・心理状態のケア、生活リズムの調整）
- ▼認知症の看護（認知症状に対する看護・介護相談、生活リズムの調整）

▼終末期の看護（痛みのコントロール、療養生活の援助、療養環境の調整）

また、緊急訪問看護体制のある機関では、利用者の同意を得た計画のもと、状態の変化や病状の観察、緊急の処置、主治医との連携など、24時間対応することができます。

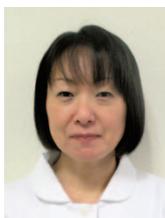
住み慣れた環境で豊かな生活を

病院での療養とは異なり、訪問看護は、普段の生活の場（在宅）での療養となるため、住み慣れた環境で家族と一緒に過ごしながら、起床・食事・消灯などの生活のリズムを本人のペースで決めることができます。訪問看護を治療・療養の選択肢の一つとす

訪問看護サービスでは、自宅に居ながら、疾病や障がいへの適切なケアを受けることができます。



「アドバイザー」



（写真上から）永嶋みどりさん・ながしまみどり、寶珠山加代さん・ほうしやまかよ（慢性呼吸器疾患看護認定看護師）・平成27年4月から地方独立行政法人くらで病院在宅支援室に勤務。



ることが、皆さんの生活の質を高める助けとなるかもしれません。訪問看護サービスを利用したい場合は、かかりつけ医やケアマネージャー、またはお近くの訪問看護機関にご相談ください。